

別記様式

		担当課	総合政策課
会議の名称	第2回鴻巣市総合教育会議		
開催日	平成27年7月22日(水)		
開催時間	午後1時15分開会・午後2時10分閉会		
開催場所	鴻巣市役所 新館 2F 市長応接室		
議長氏名	鴻巣市長 原口 和久		
出席者(委員)氏名 (出席者数)	鴻巣市長 原口 和久 <b>【教育委員会】</b> 教育長 武藤 宣夫 教育長職務代理者 石原 完 教育委員 河野 英智 教育委員 満井 康江 教育委員 小川 勝男 (6名)		
欠席者(委員)氏名 (欠席者数)	なし		
執行部及び事務局 職員職氏名	<b>【市長部局】</b> 企画部長 望月 栄 企画部副部長 根岸 孝行 福祉こども部長 瀬山 久江 保育課長 永野 和美 <b>【教育委員会】</b> 教育総務部長 田中 潔 学校教育部長 牧田 卓司 教育総務部副部長 加藤 薫 学校教育部副部長 服部 幸司 教育総務課長 村田 弘一 <b>【事務局】</b> 総合政策課長 飯塚 孝夫 総合政策課主幹 沼上 勝		
傍聴の可否 (傍聴者数)	可 (1名)		
会議の内容	(協議事項) 1 鴻巣市立小・中学校の適正規模及び適正配置について審議会への諮問(案)について 2 放課後児童クラブの現状と課題について  (決定事項など) 協議1については、次のような意見が出たが委員一同賛成で承認される。 ・通学区域の見直しについては、一部地域の見直しだけでなく、全市的な検討が必要となるのではないかと。 全市的に考えた見直しが必要ですが、審議会での検証は、先ずモデル的に進めていくことにより、課題・検討内容を十分に見直せると考えております。 ・小・中一貫教育については、学校施設を含めた小・中学校一体型であることが望ましいのではないのでしょうか。 一体型の施設整備については、子ども達のためにもしっかりと進める必要があります。施設だけでなく、「知・徳・体」のバランスのとれた生きる力の向上を図り、地域の理解を得ながら、小・中一貫教育を進めてまいります。		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校の適正配置については、教育委員会だけでなく、放課後児童クラブや地域スポーツ、自治振興、地域のお祭りなど、学校外での活動も関係しており、市長部局も含めた十分な検討が必要となるのではないかと。庁内検討委員会にて様々な課題の整理、抽出をしっかりと進めて参ります。</li> </ul> <p>協議2については、次のような意見交換がなされる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成27年度の待機児童が0人で、翌年度は定員を超える状況にあるということは分りましたが、定員をどのように増やして行くのか。定員の20%増での対応を図って行く予定です。</li> <li>・ 余裕教室での放課後児童クラブの利用について、学校現場としては、施設の管理面をどのように考えているのか伺いたい。校内を利用させていただくとした場合には、学校側とは個別に十分な協議をさせていただきたいと考えております。</li> <li>・ 余裕教室が取れない学校では、近隣の生涯学習センター等をお借りするようになるのでしょうか。教育委員会と協議しながら、決定をしたいと考えております。</li> <li>・ 放課後児童クラブの運営は、NPO法人が実施しているのですか。指定管理者制度により、吹上地域は2つのNPO法人、川里地域は社会福祉協議会が管理運営をしております。なお、鴻巣地域は、すべて公設公営となっておりますが、10月より任期付職員を配置し、管理面の強化をして参ります。</li> </ul> <p>3 その他（中間答申の時期）については、委員一同に了承される。</p>
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2回鴻巣市総合教育会議 次第</li> <li>・ 鴻巣市立小・中学校の適正規模及び適正配置について審議会への諮問（案）</li> <li>・ 鴻巣市放課後児童クラブの現状と課題について</li> </ul>

注 会議の内容の欄は、主な意見や質疑内容を交えて概要を記入し、記入事項が多い場合は、別紙に記入するものとする。